



株式会社日本旅行
西日本旅客鉄道株式会社
岡山県
岡山県観光連盟

<森の芸術祭 晴れの国・岡山 連携プログラム>

「高校生と考える観光まちづくりシンポジウム
～岡山の日常を題材にした交流事業～」を開催

高校生が描く、岡山観光の未来。

株式会社日本旅行、西日本旅客鉄道株式会社、岡山県、岡山県観光連盟にて構成される岡山県地域課題解決型教育旅行誘客プロジェクト実行委員会は、2024年11月23日～24日の2日間、<森の芸術祭 晴れの国・岡山 連携プログラム>「高校生と考える観光まちづくりシンポジウム ～岡山の日常を題材にした交流事業～」を開催します。森の芸術祭 晴れの国・岡山の開催にあわせて、岡山県の高校生が、地元の魅力を発信する教育旅行受け入れプログラムを開発しました。本シンポジウムは、そのプログラムを全国の高校生および岡山県の観光事業者を紹介する場です。



岡山県には多くの観光客や修学旅行生が訪れますが、その多くは瀬戸内や倉敷など県南エリアに集中しています。しかし、県北部にも長い歴史と豊かな自然があり、かつて大和と出雲を結ぶ出雲街道が東西に延び、城下町や宿場町として栄えた地域です。この地域には、長い歴史の中で培われた伝統的な建築や工芸が今も息づき、それを活かした産業も存在しています。岡山県北部は、まだ知られていない魅力が多く残る観光地です。現代の観光には、地域にどう貢献できるかという視点が求められています。岡山県内の高校生は、

観光誘致の授業を通じ、県北部の真の魅力を新しい視点で探究してきました。「高校生と考える観光まちづくりシンポジウム」では、全国の高校生との交流を通じて、同世代が訪れたくなるような岡山県北部の魅力を発信していきます。

本シンポジウムには全国の高校生および学校関係者を招待しておりますが、旅行をする学校側と受け入れをする地域側が、目的地となる地域の社会課題を知り、その解決につながるアイデアや知見を協働で出し合うことで、地域の持続可能性にもつながる新しい教育旅行のスタイルを探究していきます。この取り組みを推進することで、学校と地域の交流を促進できる新しい教育旅行デスティネーションとしての「岡山県」を全国に発信することを目的としています。

開催概要

1. 名称 森の芸術祭 晴れの国・岡山」連携プログラム
高校生と考える観光まちづくりシンポジウム ～岡山の日常を題材にした交流事業～
2. 日時 2024年11月23日(土) シンポジウム 13:30～17:30 (開場 13:00)
2024年11月24日(日) エクスカーション 9:00～15:00
3. 会場 11/23 美作大学 (シンポジウム)
11/24 蒜山エリア／津山・奈義エリア (エクスカーション)
4. 主催 岡山県地域課題解決型教育旅行誘客プロジェクト実行委員会
<株式会社日本旅行、西日本旅客鉄道株式会社、岡山県、岡山県観光連盟>
5. 協賛 西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行
6. 後援 岡山県教育委員会、津山市、真庭市
7. 公式サイト <https://www.2024-okayamasymposium.com/>

▼ シンポジウムへの参加対象者

観光関連事業者、自治体関係者、探究活動に熱心な高校生・大学生、サステナビリティに興味関心が高い方、教育関係者(観光人材育成) 約150名程度

▼ 岡山県からの参加校

津山商業高等学校、岡山東商業高等学校

▼ 全国から招待する参加校 10校

【大阪府】 早稲田摂陵高等学校、関西学院千里国際高等部、常翔学園高等学校 【兵庫県】 雲雀丘学園高等学校 【広島県】 近畿大学附属広島高等学校東広島校 【東京都】 東京女子学院高等学校、文京学院大学女子高等学校 【神奈川】 山手学院高等学校、関東学院高等学校 【新潟県】 新潟県立新発田高等学校

DAY1 シンポジウム

本シンポジウムでは、岡山県の高校生が地域の資源を掘り起こし、その魅力を全国の高校生に伝える「同世代交流」を通して、互いの地域の魅力を語り合い、これからの観光の形を考えていきます。

13:30～13:50	開会挨拶 ・ 主催者挨拶 実行委員長 株式会社日本旅行常務取締役 吉田圭吾 ・ 来賓挨拶 岡山県副知事 笠原和男 氏 ・ 歓迎挨拶 西日本旅客鉄道株式会社岡山支社 副支社長 浅井昌容
13:50～14:00	岡山県地域課題解決型教育旅行誘客プロジェクトについて(日本旅行)
14:00～14:30	私たちが考える岡山県北の未来(岡山県の高校生)
14:45～16:30	岡山県・全国の高校生のディスカッション(教職員ディスカッション同時開催)
16:45～17:20	高校生によるディスカッション内容発表
17:20～17:30	閉会挨拶

DAY2 エクスカーション

※【別紙】エクスカーション日程表をご参照ください。

観光ビジネスを学んできた岡山県の高校生と地域の事業者が連携して開発した、教育旅行プログラムを実施します。

このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社日本旅行

秘書広報部 広報担当 TEL 03-6895-7860

担当：宇野・井村・富樫

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング12階

エクスカーション(岡山東商業高校プロデュースコース)

07:30 津山市ホテル出発

08:30 蒜山高原センター駐車場

GREENable HIRUZEN (08:30~09:00) *

サステナブルの価値をより多くの人に知ってもらうための発信拠点施設です。脱炭素・サステナブルな建築として、また、都市と地方との資源・文化の交流を表すものとして、ブランドの象徴となっています。

09:20 蒜山郷土博物館 (09:20~10:10)

国指定重要無形民俗文化財である「大宮踊」をはじめ、蒜山の歴史、自然、文化、郷土芸能などがパネルや映像で紹介されています。

10:45 茅刈り体験 (10:45~12:00)

【熊谷の草原】

蒜山の草原には、多様な動植物が生息・生育しており、絶滅危惧種も数多く育む貴重な動植物の宝庫となっています。現在でも蒜山各地で山焼きが行われています。

12:15 ひるぜんジャージーランド・昼食 (12:15~13:00)

上蒜山の南麓に位置し周囲は広大な牧草地に囲まれている施設です。

13:15 ヒルゼン高原センター (13:15~14:15)

ジャージーアイスクリーム作りを体験します。

GREENable HIRUZEN *

15:00 解散

*森の芸術祭展示会場



エクスカッション(津山商業高校プロデュースコース)

● 08:30 津山駅集合

● 09:10 シンボルロード(奈義町) (09:10~09:40) *

那岐山へまっすぐ延びるシンボルロード。那岐山を一望できます。※「さんぶたろう踊り」森山未来さん編の紹介

● 09:40 奈義町現代美術館 (09:40~10:15) *

3組のアーティストに巨大作品を制作依頼し、その作品と全体の空間を建築化したもので、作品と建物が半永久的に一体化した公共建築として世界で初めての美術館です。

● 10:55 津山城・城下スクエア (10:55~12:20) *

「日本100名城」「日本さくら名所100選」に選ばれている津山市のシンボルです。明治の廃城令によって建造物はすべて取り壊されましたが、2005年に築城400周年を記念して備中櫓が復元されています。

● 12:30 昼食 (12:30~13:30)

津山ならではの食材を取り入れた昼食をいただきます。

● 13:40 徳守神社・津山城下町歴史館 (13:40~14:20)

城西伝統的建造物群保存地区は、城下町の西部に位置し、坪井町、宮脇町、西今町、茅町の出雲往来沿い及び西寺町と小田中を範囲としています。

● 14:30 津山まなびの鉄道館 (14:30~15:00) *

旧津山扇形機関車庫は国内2番目の規模を誇る貴重な施設です。岡山の鉄道の歴史や鉄道の仕組みも体験できます。

● 15:00 解散



*森の芸術祭展示会場